

信州プレミアムカラマツのブランド化

1. ねらい

良質な大径材、高品質な製品として信州カラマツの利用を推進するため、長野県や木材関係団体と協同して一定規格以上の丸太をブランド化し、市場に流通させています。

2. 概要

長野県を代表する樹種「カラマツ」は、先人たちの努力により、植え、育てられ、古いものは80年以上の時を経て、全国に先駆け大径材として生産、利用の時代を迎えています。

平成29年5月に開催された「国際ウッドフェア2017」の会場において、長野県、長野県森林組合連合会、長野県木材協同組合連合会とともに、長野県産の林齢80年生以上の高齢級カラマツ人工林から生産される径級30センチ以上の良質な大径材丸太を「信州プレミアムカラマツ」として発表し、同年10月に初出荷しました。



3. 成果

民有林材と国有林材を合わせて平成29年度から販売を開始し、今までの最高単価（1m³当たり）は、令和4年度販売の51,000円が最高値となっています。



木曽町「三岳保育園」で使用されている信州プレミアムカラマツ

年度	販売数量	平均単価
R2	14.673	29,436
R3	6.728	39,168
R4	8.034	39,333
R5	3.822	34,319
R6	16.070	23,888
実績	109.539	27,811

信州プレミアムカラマツの販売実績と販売単価

4. 問い合わせ先

資源活用課 電話026-236-2677